

目黒稲門会会報



(題字: 眞仁田 勉 初代会長)

第103号 2024年6月

事務局: 〒153-0053 目黒区五本木2-22-6 Tel:03-3713-1684
発行人: 川崎 秀一 編集長 細谷 清 事務局長 吉野 博明
ホームページURL: <http://me96tomon-waseda.la.coccan.jp/>

設立 25 周年記念総会・祝賀会のご案内

2024 年目黒稲門会 25 周年記念総会ならびに祝賀会を下記の通り開催いたします。会員の皆様にはご多用中と存じますが、是非ともご参加頂きますようご案内申し上げます。

総会では、2023 年度事業実績報告、同決算報告および監査報告、2024 年度事業計画案、同予算案等の審議を予定しております。

祝賀会では、当会の設立 25 周年を祝い、早稲田大学ナレオ稲門会による演奏、早稲田大学ハワイ民族舞踊研究会によるフラダンスを予定しています。

設立 25 周年を迎え、新たな時代の出発に集い、夏の熱気に乗せて大いに語り、大いに飲み、早稲田の絆を深めたく存じます。ご家族おそろいでのご参加を歓迎いたします。

スマートカジュアル(襟付き)でご参加ください。
記

- 日時 2024 年 7 月 7 日 (日)
受付開始 15 時 30 分
総会・懇親会 16 時～19 時
- 会場 ホテル雅叙園東京
2 階「華しずかの間」
目黒区下目黒 1-8-1
TEL 03-3491-4111 (代表)
- 会費 会員10,000円、同伴家族5,000円
下記口座に事前振込お願いします。
三菱UFJ銀行 学芸大学駅前支店
(普) 0450905 目黒稲門会 宮村 直身
(メグロトウモンカイ ミヤムラナオミ)
当日、受付担当会員も総会を楽しむ時間を確保するため、会員の皆様のご理解とご協力を何卒宜しく申し上げます。
- 同封の返信用はがきを、6月24日(月)までにご返送下さい。電子版会報の方は、下記URLのフォームよりご出欠のご回答をお願い致します。

URL : <http://me96tomon-waseda.la.coccan.jp/2024sokai.html>

設立 25 周年記念行事について

1999 年、目黒稲門会が眞仁田初代会長を中心として設立総会を開き、発足して 25 年の時が流れました。本年は目黒稲門会の記念すべき設立 25 周年目です。

本委員会が中心となり 25 周年記念イベントについて検討、企画中です。決定次第、随時お知らせします。

1) 25 周年記念総会・祝賀会について

2024 年 7 月 7 日 (日) に第 25 回定期総会後に記念祝賀会に早稲田大学ナレオ稲門会&早稲田大学ハワイ民族舞踊研究会を招いてホテル雅叙園東京にて開催する予定です。

2) 会報/設立 25 周年記念特集号について

設立 20 周年記念特集号と同様に、8 ページ通常版会報に 4 ページ増やし、12 ページの会報第 104 号を設立 25 周年記念特集号として発行します。(2024 年 8 月末送付予定) 設立 25 周年を迎えての寄稿記事(募集中)を追加掲載する予定です。

3) 設立 25 周年記念各部会について

20 周年記念では『目黒区美術館区民ギャラリー』で会員作品展を開催し好評を博しました。日程については、下記部会が確定しています。その他の部会については確定次第、会報、ホームページ、メールにてご連絡します。

- | | |
|-----------|------------------------------------|
| ・囲碁部会 | 6 月 6 日 |
| ・ゴルフ部会 | 11 月 7 日～8 日 |
| ・ウォーキング部会 | 9 月 17 日～18 日
または 9 月 18 日～19 日 |

4) 設立 25 周年記念事業協賛金のお願い

記念事業として、1 口 1,000 円以上の協賛金をお願いしています。本事業の趣旨をご理解頂き、何卒御協力頂きますよう、宜しくお願い申し上げます。

設立 25 周年記念事業委員会

各部会からの案内・報告

俳句部会

第165回「俳句部会報告」

日時 2024年4月8日(月) (順不同)

- 川井素山 花吹雪 寝釈迦の如き 男かな
- 保井寶正 墨堤に 返す波間の 夕燕
- 佐久間喬 病棟の 庭青き踏む 車椅子
- 丸山酔宵子 躑を 独り占めする 落椿
- 吉田啓悟 せり市の 声の中より 初つばめ
- 青木英林 中央道 甲斐路は桃の 花盛り
- 山本草風 伊勢の宮 神威にまじる 初音聞く
- 佐久間たか子 駄菓子屋の 児らの視線に 初燕
- 渡辺鯨波 青き踏む 地雷撤去の ボランティア
- 後藤克彦 新築の 駅舎戸惑ふ 燕来る
- 原 晶如 雲一片 花の杖持つ 杏子の忌
- 永井正孝 踏青や 五言の律を 思ひけり
- 青葉ひかる 燕来る グリーンピースの 混ぜご飯
- 中村双月 ポケットに 夢の欠片や 青き踏む

中原主宰の選んだ秀句と評

花吹雪 寝釈迦の如き 男かな

花吹雪の中、寝釈迦のように横になっている男の景、男より漢とした方がよい

せり市の 声の中より 初つばめ

せり市の威勢のよいかけ声の中よりとしたところがうまい

新築の 駅舎戸惑ふ 燕来る

毎春来ている駅舎が新築となっており、去年までの巢はおそらく撤去されていると思われる。その様を戸惑ふと詠んでいる

俳句部会長 佐久間 喬

囲碁部会

2024年2月17日より参加者8名で開始した24期下期第3ラウンドは、1位小岩氏、2位小倉氏、3位保井氏、で終わりました。1位小岩氏は、リーグ戦開始以来の完全制覇の偉業を達成しました。

25期上期第1ラウンドは、4月13日(土)より開始、5月26日(日)に終了予定です。

25期上期第1ラウンド終了後の6月6日(木)に設立25周年記念トーナメント戦を碁会所で開催予定です。奮ってご参加ください。

囲碁部会長 市川 亘

音楽を楽しむ会

昨年11月より新部会の発足を検討してきましたが、設立25周年を記念してより幅の広い部会とより多くの会員が参加出来る様に部会名も「音楽を楽しむ会」

としました。楽器演奏(ギター、ピアノ、ハーモニカ、ウクレレ等)、合唱、カラオケ、音楽鑑賞等音楽と名の付くあらゆる分野で「音楽を楽しむ部会」にしたいと思えます。

2024年2月3日(土)、上目黒住区センターで第1回を開催、参加者は14名でした。次の演奏楽器紹介がありました。ギター(広井、山内、小出)、ピアノ(山内、小出、川崎)、クロマティック・ハーモニカ(梶)ウクレレ(川崎)。中上副会長指導、全員参加のエクササイズを行った後、皆で4曲合唱しました。

第2回は3月9日(土)、上目黒住区センターで開催、参加者は12名でした。小出世話人による発声練習および大人のリズム遊びの指導があり、皆で9曲合唱しました。

第3回は4月7日(日)、中央町社会教育館(旧目黒区役所跡)で開催、参加者は13名でした。

全員楽器参加で楽しもう!ということで、参加者全員で、カスタネット、タンバリン、ギロ、クラベス、カウベルなどの楽器で演奏しました。今回も皆で9曲合唱しました。



発声練習



HPで、動画が見られます。



ピアノ：山内幹事



電子オルガン：小出世話人



ギター：広井幹事

声を出し身体を動かすことは、長生きの秘訣です。是非、あなたも、いらっしやいませんか？

音楽を楽しむ会代表世話人：広井 幹也



エクササイズ：中上副会長

いち月会

3月4日の定例会は、梅山飯店で参加者は10名でした。菊地さんの独演会は、夏目漱石の『夢十夜』第六夜、第九夜でした。

4月1日の定例会は、梅山飯店で参加者は17名で初参加者は内山信夫氏、松方正彦氏、今岡植氏でした。

いち月会部会長 菊地 崇之



ウォーキング部会

「ANA 羽田整備場見学と多摩川スカイブリッジを渡る」 (2024年4月17日)

当初、2022年に開通した多摩川最河口に架かる「多摩川スカイブリッジ」を渡る企画があり、それだけでは短すぎるので、その前後に良い立ち寄り先がないかと悩んでいた。部会員の中に羽田空港に詳しい人がいて「それなら整備場見学はどうか。予約制なので人数、日程調整が必要だが」とのサジェスションがあり、早速段取りに入った。いつもは10人前後の参加者だが、今回は余裕を見て15人枠で予約を申し込んだ。案ずることもなく15人の枠は直ぐ埋まり、手配してくれた部会員の奮闘により無事、この日の開催となった。

13時に東京モノレール「新整備場駅」改札外に集合。間違えて三つ手前の「整備場駅」に行った人達も何とか間に合った。

新整備場駅のすぐ外で待つANAのシャトルバスに乗り込み、勇躍ANA整備場に向かう。受付で、バーコード付きの入場証を渡され、首から下げてレクチャールーム(ANAでは「お話し」会場と言う)に入室する。入場証に記載された世界各地の空港名(アルファベット3文字。例えば羽田空港ならHND)別に指定された机に着くと、ヘルメットも用意されている。ここで、空港内施設なので厳重な安全規則に基づく場内ルールの説明や、映像での見学概要の説明が25分行われた。

「お話し」会場が終わると愈々(いよいよ)ANA Blue Hanger Tourに7~8人ずつ四つのグループに分かれて出発。私たちはバーコードでゲート通り抜け、現役CAのてきぱきとした案内によりエレベーターで整備場ビルの3階へ向かう。3階では長い廊下を左側に沿って歩く。ここでは通路の真ん中が台車など作業用の移動通路、人は常に左側と決められているようだ。

突当りの扉を開けると、そこは格納庫。眼下に整備中の飛行機が現れる。ひととき大きい機体はボーイング787-9、通称ドリームライナーで、何と375~395人乗りだそうだ。長さ62m、幅(翼)60m、高さ17m。4階建てビル相当の高さで兎に角大きい。

格納庫の端には、ボーイング737-500機が一機止まっていて、これは退役機として、整備士の訓練に利用されているようだ。

地上階に降りて、愈々ドリームライナーの真横へ進む。操縦士席の風防ガラスが、技術革新により在来機より大きな窓になり、枚数も6枚から4枚に削減されたとか、エンジンはANAではロールスロイス製を使用しているが、他社ではGE製エンジンも使われてい

るとか、何よりも翼に炭素繊維を使用し、強靱性が確保されているので飛行中には15mも上下に反ることなど、案内いただいたCA(キャビンアテンダント)の方の正確な技術説明に感嘆した。



整備中のB-787-9の前で

格納庫の目の前はA滑走路で、大小さまざまな旅客機が次々と着陸する。久しぶりに迫力満点の着陸シーンに感動しつつ、ドリームライナーの前で記念撮影をした。1階受付前に戻り、再びシャトルバスで新整備場駅へ向かう。

再びモノレールに乗って新整備場駅から第三ターミナルに移動。隣接するエアポートガーデンビルのプロムナードを抜け、ホテルの入口を横目に見ながら進むと、外の連絡通路に出る。通路の突端を3階に上ると左手に「多摩川スカイブリッジ」が現れる。全長675m、総工費300億円をかけて建設され、2022年31月12日に開通した。羽田空港と京浜臨海工業地帯を結ぶ橋だ。歩行者・自転車・自動車完全分離だが、何と歩行者用の道まで上り下り一方通行に分けられているのには驚いた。

多摩川を渡る風に吹かれながら気分よく橋を渡る。



多摩川スカイブリッジを渡る

蒸し暑い中を川崎側にある京浜工業団地の引き込み線脇を歩くと、疲れがどっと出てくる。京急大師線の終点小島新田駅に辿り着き、乗車。京急川崎駅に着くや否や、居酒屋を目指してのどを潤しにいそいそと向かう一行でした。

ウォーキング部会長 吉野 博明

麻雀部会

2月19日(月)に第91回定例会を権之助坂“華”にて開催しました。参加者は2卓8名と少し寂しい状態が続いています。結果は、村上が優勝、2位は石橋氏、3位は本田氏、ブービー賞は宮村氏でした。

4月15日(月)に第92回定例会を権之助坂“華”にて開催しました。高齢化が進み、人が集まりにくくなっており今回も2卓8名での対戦でした。

優勝は最高齢の千野氏、2位は本田氏、3位は鈴木氏、ブービー賞は松尾氏でした。

参加賞対象者は、石橋、岩本、猪名川、村上の各氏でした。次回は6月17日を予定しております。

麻雀部会長 村上 柁

女性企画ランチ

次回は、6月8日(土)にパーシモンホールで開催される伝承講演会「雅楽」に親しむ(13時開場)を鑑賞予定です。

女性企画ランチ幹事 瀬下 智子

スポーツ観戦部会

2024年4月21日(日)、快晴の下、隅田川の新大橋上流から桜橋上流において『第93回早慶レガッタ』が開催されました。12時に桜橋に集合、対校エイトを観戦応援をしました。



対校エイトの結果は、早稲田が慶応に1/4挺身差で勝利しました。対校エイト前に行われた主なレースでは、学部対校エイトは3/4挺身で、女子対抗エイトは2挺身差で早稲田が勝利、第2エイトは3挺身差で慶応が勝利しました。試合後の反省会で、対校エイトの勝利を祝い、美味しいお酒を酌み交わしました。

第72回早慶アメリカンフットボール対校戦が、コロナ禍等により、5年振りに4月29日(月・祝)、駒沢陸上競技場で行われました。



参加者13名。早大が慶大に32対21で快勝しました。

スポーツ観戦部会長 狩野 俊夫

花見会

2024年3月17日(日)、目黒稲門会として5年振りの桜花見会を予定していましたが生憎桜の開花が約1週間ほど遅れたため花見散歩は取りやめて、17時30分より「東京へぎそば・匠・中目黒店」で懇親会を開催しました。参加者13名。

世話人が一興に、桜の枝木をお店に持ち込んで各テーブルに飾って、お花見をしながら懇親しました。若手会員5名を交えて尽きない話題に花が咲きました。



世話人 中西 元樹

早稲田大学校友会 学報編集室よりのお願い

早稲田学報の編集室より校友からの原稿の募集と情報の提供を求める依頼が来ております。

1. 『早稲田学報』2024年10月号「酒場(仮)」

特集 投稿募集/6月末締め切り

早稲田・高田馬場界隈で昭和から営業を続ける酒場の特集を組みます。

在学時などに利用した特定のお店(今はもうなくなってしまったお店も含む)に関する情報を募り掲載。

応募される方は、下記①～⑥の全ての項目を下記の「10月・4月号特集担当」までお送り下さい:

- ①在学時のお名前(確認用/掲載せず)
- ②生年月日(確認用/掲載せず)
- ③連絡用メールアドレス(確認・質問用/掲載せず)
- ④掲載するお名前(匿名可/掲載)
- ⑤卒業学部(掲載)
- ⑥1文～200字までの「特定のお店に関する情報」(掲載)

2. 『早稲田学報』2025年4月号「踊る人(仮)」特集
ダンス・舞踊・踊り等(スケートは含まず)に関わる校友を紹介する特集を組むので、ダンス・舞踊・踊りなどに関わる校友のどんな情報でも結構。情報提供のお願い。

【宛先】gakuho@list.waseda.jp

早稲田大学校友会事務局 学報編集室 10・4月号特集担当
「酒場」或いは「踊る人」を明記すること。

「学報」には当会の行事の案内などで日頃からお協力を頂いております。

会員の広場

目黒に移り住んで



川崎 秀一 (1970年 法)

私の住んでいる町は住所で言うと上目黒5丁目です。最寄りの駅は祐天寺、駅から徒歩約8分、この辺りは昔から通称「蛇崩」(じゃくずれ)とされています。

山手通青葉台から環七の野沢龍雲寺をつなぐ野沢通にある交差点の信号表示も「蛇崩」となっています。

東京のタクシーである程度経験を積んだ運転手さんならばどこで乗っても、「蛇崩」と言うとすぐに場所が分かります。それだけ珍しい地名という事だと思います。

なぜこの名前が付いたのか、それは、現在は暗渠になっている蛇崩川がこの辺りを流れていたからだと思います。

何故蛇崩川と言う名称が付いたかをこの辺りに昔から住んでいた古老に聞いた事がありました。川の畔や土手に蛇の巣穴が多くあって、雨などが多く降ると、それが崩れていたことから、蛇崩となったとの事でした。真偽は分かりません。

世田谷の弦巻方面から下馬を通り上目黒から中目黒を流れている川です。私の子供の頃には未だ川が存在し、橋も架かっていました。蛇崩橋、蛇崩下橋と2本の橋がかかっていました。

当時の川は、コンクリート壁で深く囲まれた味気のない川でした。もちろん川の畔にはいけません。台風などで水かさが多い時はごうごうと言う音を立てて川が流れ、怖いようだった事を覚えています。

確か昭和30年代に暗渠となり、遊歩道が整備されて今のように四季折々の花が咲くととても良い散歩道になったと思います。

バスの停留所は三宿(みしゅく)病院前、渋谷駅、目黒駅、に向けて2路線が走っていますが、上り方面停留場は世田谷区、下り方面は目黒区にあります。

つまり、道路一本へだてて西側が世田谷区となります。目黒区の端という事です。子供の頃には個人商店が幾つかありましたが今は殆どありません。しかし、当時

から残っているお店が数軒あります。橋本酒店、北原電気、蛇崩更科、この3店です。

昭和29年創業の名店蛇崩更科は柿の木坂更科の分店として出来ました。しかし原点の柿の木坂更科は既にあります。つまりこの店がそのルーツを繋いでいるという事です。子供の頃の思い出ですが、テレビがまだ各家庭に普及する前にお店にはテレビがありました。ソフトクリームを注文して、このお店で巨人戦の野球や栃錦・若乃花の優勝決定戦など見た記憶が有ります。

この店主は87歳ですが、ホンダのスーパーカブで出前を行うなど今も元気で働いています。私はなぜか気が合って仲良くしています。彼は、面白い経歴を持っています。もともとピアニストでバンドマンでした。「ブルー・コメッツ」のキーボードや八代亜紀さんのバックバンドのピアノを弾いていました。

ミュージシャンだったのです。今でも、仕事が終わった後には2時間位ピアノに向かっているとの事です。もともとは柿の木坂更科の次男でそば屋を継ぐつもりが無く、音楽関係の仕事についていたのですが、結局最後は美味しい蕎麦の味を守るという事でそば屋に戻って来たとの事でした。店内はいつも店主がセレクトしたJAZZのピアノ演奏が静かにバックグラウンドとして流れています。蕎麦も美味しいので結構遠くから食べにくる人も多いようです。また、出前も遠くまで配達しており、愛好者の多いお店です。一度食べる価値はあると思います。

話が変わりますが、私はこの地に引っ越してきたのが昭和24年です。それ以来住み続けていますが、当時はこの辺りも本当に畑と野原が一杯の田舎でした。家の前は殆ど畑で麦やトウモロコシなどが植わっていたことを覚えています。

又、現在の三宿病院や自衛隊中央病院、東山小学校、中学校、公務員宿舎あたりは雑草が生茂る野原でした。まったく建物は有りませんでした。

これは、旧陸軍の演習場があった場所で、戦後しばらくは放置されていましたが、その後国有地として開発がされて今に至っています。

小学校の頃夏休みの宿題で昆虫採集をやったことを覚えています。今や、かけらも残っていません、正に隔世の感があります。

住み続けて70年以上が経っていますが、今でもとても住みやすい街だと思っています。もちろん、幼少期の数々の想いでもこの地には有ります。

我が町「蛇崩」は私の心の故郷でもあります。



蛇崩交差点



蛇崩橋



蛇崩下橋

『森繁久彌』



市川 亘 (1976年 商)

気旅の情けか 飲むほどに さまよい
 浜に出てみれば 月は照る 波の上
 今宵こそ君を 抱きしめんと
 岩かげに寄れば ピリカが笑う

この詩は皆さんご存じの名曲「知床旅情」の二番目の歌詞(加藤登紀子版)です。

意味は、酔って浜辺に出て、君を抱こうと岩陰に誘ったが、君は私の下心を見抜いてクスクスと笑う、といったところです。

詩の中でピリカは、アイヌの美しい娘さんを意味しています。

この歌詞はとても可愛い詩だなと思います。

知床旅情と言えやお登紀さん(加藤登紀子)の美声に酔いしれた方々も多いと思いますが、この歌の作詞作曲は実は昭和の名優森繁久彌(もりしげひさや)です。

知床で映画ロケを行った際に、森繁久彌作詞作曲の「オホーツクの舟歌」の曲に新たに知床旅情の歌詞を添詞して歌ったとか。

その後多少編曲され、お登紀さんが歌い全国的に大ヒットとなりました。

森繁久彌の原曲も素っ頓狂でなかなか味があります。是非、Youtubeで聴いてみることをお勧め致します。

森繁久彌の活動は、言うまでもなく俳優、声優、歌手、喜劇俳優、元NHKアナウンサーと大変幅広いものがあります。詳しくは、ネットのウィキペディアをご覧ください。

ただ、ここで強調したいのは、森繁久彌は、旧制早稲田第一高等学院から1934年早稲田大学商学部に進学しています。在学中は演劇研究部に所属していました。しかし翌年必修科目の軍事教練を拒否し、大学を退学してしまいます。



なお、1986年、早稲田大学の卒業式に記念講演の講師として招かれ、卒業証書を授与され、正式に卒業が認められています。

皆様の原稿を募集しています

海外での体験、今だから言えるお仕事の話、在学中の物語、今も続く部活動の仲間との交流、目黒にまつわるお話等をご寄稿下さい

校友会だより

——2023年度東京都23区支部大会——

2024年3月10日(日)、2023年度東京都23区支部大会がリーガロイヤルホテル東京で開催され、311名、目黒より14名が出席しました。

第1部「講演会」では、公益財団法人「日本サッカー協会」相談役、一般社団法人「日本トップリーグ連携機構」会長の川淵三郎氏による「夢があるから強くなる」に関する講演と、田中愛治総長による「人々と社会に貢献する学生を育てる早稲田」についての講演がありました。

第2部の「懇親会」では、アトラクションとしてニューオルリンズ・ホットストーンパズの演奏を楽しみ、最後に応援部の指揮のもと「紺碧の空」、「早稲田の栄光」および「校歌」を高らかに歌い閉会しました。



荒瀬修一郎氏を偲んで

- 一杯やろう！焼き鳥は塩が美味しいね -

保井 正 (1959年 政経)

山口県出身、海軍兵学校江田島卒業、1953年法学部卒、囲碁五段、麦焼酎「あげまん」が好物、荒瀬先生の人となりです。目黒稲門会の侍が逝ってしまいましたか本当に寂しい限りです。囲碁部会を25年にわたりご指導頂きました。

私が入会した当時は五級ぐらいで、眞仁田勉五段、八幡和二郎五段、桑野祐光五段、高橋栄一五段、星野総史三段等々全盛期でした。荒瀬先生は下手との対局はめっぽう上手でよく泣かされました。囲碁部会が終わると全員で土川さんご用達の寿司屋に四月会と合流すべく繰り出しました。

荒瀬先生の政治談義、眞仁田さんの人生訓話など心を開かれる一時でした。

第7回オール早稲田囲碁大会でA、Bクラスでダブル優勝の快挙を成し遂げた時の立役者でした。

神宮球場の早慶戦では過激なヤジを飛ばしてハラハラさせたり、溜飲をさげたり、人の気持ちを掴む天才で格調の高い挨拶は天下一品でした。

手塚仁雄氏、伊藤悠氏、松田哲也氏を立派な政治家に育てたのも大いなる功績だと思います。本当にお世話になりました。ご冥福をお祈り申し上げます。

コンプライアンス宣言について

この度、目黒稲門会は、4月1日付でコンプライアンス宣言を発信しました。

※詳細は右記QRコードに示すHP参照



私たちは、基本的人権を尊重し、遵法精神に則り、社会的常識を踏まえ行動する事を旨として目黒稲門会を運営して参りました。しかしながら、この10年余りで、世の中の状況も変化し、社会的常識の認識も少しずつ変化して来ました。パワーハラスメント、セクシャルハラスメント、個人情報保護の厳格性など、社会の変化の中でより厳しく見られるようになり、また個人個人での受け止め方も変化しております。これらを背景に、行動規範として明文化しました。

2024年7月7日の総会で行動規範に関し次の会則改定を行う予定です。

改定案：第15条行動規範追加

1. 誰もが楽しい目黒稲門会を目指し、全ての会員は、法令順守を遵守し、社会規範にもとることなく誠実かつ公正な活動を行い、基本的人権を尊重し、ハラスメントを防止し、反社勢力との関係を持たず、および個人情報の保護を心掛け、会員相互の健全かつ良好な関係の維持、構築に努める
2. この行動規範の実施細則は役員会が定める

——「気を付けましょう」こんな事——

普段何気なく、悪気もなくやっている行動がハラスメントになることがあるので気を付けましょう。

「ハラスメントあるある」

- ・対話をしている時に大声で相手を威嚇する様な事はありませんか？
これは**パワーハラ**になることがあります。
- ・皆で楽しくお酒を飲んだ後に、興にのり調子に乗って若手会員に2次会を無理やり誘う様な事はありませんか？
これは**パワーハラ**になることがあります。
- ・親しい気持ちの表れとして、悪気なく女性の頭をなげたり肩に触ったりすることはありますか？
これは**セクハラ**になることがあります。
- ・上下関係、部の伝紋、集団によるはやしたて、罰ゲームなどといった形で心理的な圧力をかけ、飲酒を強要することはありますか？
これは**アルハラ**（アルコールハラスメント）にあたる可能性があります。

目黒の坂巡り

別所坂 金井 豊男（1966年 理工）

別所坂（べっしょざか）と言えば、2022年2月に新規会員募集ポスティングの際、この別所坂を登り、上の中目黒二丁目のマンションに在住の校友に募集書類を投函、急斜面なS字坂（全長228m、高低差19.3m、平均斜度7.86%）であることを覚えています。

別所坂は中目黒一丁目、二丁目の境にあり、坂を登ったところが渋谷区に接しています。別所坂は、この坂を下ったところに別所と呼ばれた地名があったことから、別所坂と名がつけられたとされています。



別所坂

江戸の人びとが麻布辺りから目黒に入る近道として重要な交通路であり、坂上は眺めが良く、目黒元富士とともに江戸名所の一つとして、行楽客に親しまれていました。



別所坂・庚申塔

坂上あたりには、別所坂・庚申塔が残されています。庚申塔は6基あり、庚申を信仰する庚申講の人たちが1665年から1764年頃に建てたものだそうです。

別所坂は坂上までやってくると景色がひらけてきます。現在はまわりの建物があるため想像できないかもしれませんが、かつては富士山も坂上から見えたそうです。そのため昔から富士山が眺められる景勝地として知られていました。



案内板

坂上には「目黒の“新富士”と新富士遺跡」と書かれた案内板が設置されています。江戸後期に蝦夷（えぞ）・千島を探検した幕臣近藤重蔵が、このあたりに自邸をかまえ敷地内に立派なミニ富士を築造したことで、目切坂上の“元富士”に対して“新富士”という名で呼ばれ、大勢の観光客が訪れ、この地が江戸時代から名所だったことを説明している案内板です。

案内板には、広重筆の浮世絵『目黒富士山と眺望』が描かれています。浮世絵には江戸時代のこのあたりの景色や近藤重蔵が築造したミニ富士（=新富士）が描かれており、当時の雰囲気を想像するにはぴったりだと思います。



目黒新富士山と眺望
広重筆

会員ギャラリー

『サハラ砂漠の荘厳な夜明け』 油彩 SM サイズ
丸山 忠生 (1969年法)



成田から12時間でドバイ空港に。更にカサブランカへと9時間。将に地の果てモロッコへの旅を昨年11月末に思い立ったのであります。カサブランカ、フェズ、シャウエン、マラケシュそしてサハラ砂漠の玄関口エルフードへ。夜明け前の満天の星の中を、夢にまで見たサハラ砂漠をラクダに乗って神々しい体感をしたのであります。

茜射す サハラの大地 淑気満つ
丸山酔宵子

『祐天寺の藤の花』 写真

山内 宏 (1981年 教育)



桜の季節も終わり、花水木、つつじ、そして藤の花が、これから見頃です。是非、祐天寺の藤を楽しまれてはと思います。

新入会員

佐藤 公啓 (さとう きみたか) 2019年文学(目黒区南在住)



早いもので、卒業して5年になります。生まれ育った目黒に稲門会があると知り、今回入会させていただきました。趣味は自転車、ディズニー映画鑑賞です。皆様よろしくお願ひ致します。

上崎 貴実代 (うえさき きみよ) 2011年大学院政治学研究科
(目黒区上目黒在住)



こんにちは。上崎貴実代と申します。早稲田の仲間と共に活動できましたら幸いです。有意義に過ごしたいです。よろしくお願ひ致します。

井出 敬也 (いで たかや) 1996年二文

(目黒区緑が丘在住)



学生時代は体育局相撲部におり、卒業後4年間監督も務めておりました。どうぞよろしくお願ひいたします。

齊賀 丈暁 (さいが たかあき) 2011年政経

(目黒区下目黒在住)



区立緑ヶ丘小学校、区立第十中学校、早大学院出身です。稲門会の皆様と交流させて頂きながら、地元目黒へ少しずつ恩返しをしたいと思っております。趣味はフットサルとゴルフです。よろしくお願ひいたします。

鈴木 まゆみ (すずき まゆみ) 1981年政経

(鎌倉市大船在住)

昨年8月に、事務所が品川の大井町から、学芸大学に移転致しました。目黒はハイセンスで、街ゆく人にもクラスを感じます。東急線を通勤に利用するとは思っていなかったもので、少々の戸惑いが……。学芸大学あたりは犬を散歩させている方も多く、つい立ち止まって話しかけてしまいます。こんなところから目黒に馴染んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

渋沢 謙太郎 (しぶさわ けんたろう) 2003年人間科学

(目黒区目黒在住)



2003年に人間科学部を卒業、2005年に大学院人間科学研究科を修了し、出身地である埼玉県川越市から目黒区に移住しました。稲門会での活動を通じて地域やお世話になった方、場所への恩返しができるばと考えています。

新家族会員 (敬称略) : 保井 栄子 (やすい えいこ)

伊東 ちひろ (いとう ちひろ)

編集後記

今年は入学シーズンに合わせてくれたかの様に、桜が満開を見せてくれました。今は春たけなわで路辺も花盛り。放置された空地の草花も色とりどりですが、外来種が羽振りを利かせています。共生ですよ、と呟きながら立葵を愛でるこの頃です。 (細谷記)